

千葉県生協連活動報告

第1回福祉・たすけあい事業部会が開催されました！

5月23日、千葉県生協連会議室において、2019年度第1回福祉・たすけあい事業部会を開催し、10名が参加しました。

今回は身近なたすけあい事業について生活協同組合パルシステム千葉 家事支援事業部の田中聡さんをお招きし、『家事支援事業について』、生活協同組合コープみらい千葉県本部の大野泰之さんをお招きし、『おたがいさまについて』それぞれ学習・意見交換をおこないました。

はじめに、パルシステム千葉の家事支援事業について説明がありました。



当日の様子

パルシステム千葉では組合員のくらし役立ちにさらに貢献できる新規事業として家事支援事業を行なうことを決定し、福祉事業の一環として活動ではなく事業としての確立を目指しました。商品内容としては「家事代行サービス」「ハウスクリーニング」「貼り替えサービス」を行なっています。体制としては職員を始め、個人事業主、委託会社で行っていますが、全体的に人員不足のため、人の手配に悩まされています。2018年度の実績は総事業収入も伸びて黒字に転換することができました。家事代行サービスは40代の利用が多く、中でも掃除が最も多く利用されています。新しく契約した個人事業主は3日間の研修を行なっています。求められるサービスも多様化しているので今後も組合員に喜んでもらえるサービスを提供しながら事業拡大を目指します。



パルシステム千葉 田中さん

続いてコープみらいのおたがいさまについて説明がありました。



コープみらい 大野さん

コープみらいでは1997年に組合員から寄せられた「ひとことカード」がきっかけで、1999年4月から千葉市で「おたがいさま」が始まりました。「おたがいさま」は組合員同士の「たすけあい」の活動で、誰もが気軽に相談できて、誰もが気軽に応援できる仕組みです。体制としては本部に受付センターがあり各地域にコーディネーターを配置しています。おたがいさまの応援依頼が受付センターにきたら各地域のコーディネーターに連絡し、コーディネーターが登録している応援者に依頼をします。応援して頂いた方には利用料金から謝礼が支払われます。現在、応援者は4,293人いますが、登録だけの方も多いので実際に応援してもらえるかどうかの確認が必要となっています。2013年をピークに利用が減少しているので「おたがいさま」の認知度の向上を目指します。

その後、質疑応答、各会員生協の報告を行ない終了しました。